

忘れないで 震災のこと



「お医者さんのお茶っこ」報告会 & チャリティーコンサート

2011年3月11日 東日本大震災で多くの方が被害を受けられました。

緩和ケアの立場からできることはないかと2011年9月から始めた「お医者さんのお茶っこ」は、こころとからだの変化によりそいながら、安心して話ができる場所の提供を心がけてきました。

現在この活動は、看護師、音楽療法士、精神保健福祉士などのメンバーも加わり、ゆっくりですが訪問を続けています。まだまだ仮設住宅での生活が続き、まちの復興にも時間がかかりそうです。彼らの願いは震災を忘れないでほしいということ。そして、これから起こるであろう災害に備えてほしいということ。

私たちの活動報告と素敵な音楽を聴きながら、被災地と被災された方々に思いを馳せてみませんか？

第1部 「お医者さんのお茶っこ」報告会



北海道大学病院
緩和ケアチーム
田巻知宏



埼玉医科大学総合医療センター
呼吸器外科・緩和ケア推進室
儀賀理咲



聖ヨハネ会桜町病院
聖ヨハネホスピス
大井裕子



北海道大学病院
精神科
田中輝明

☆日時 平成25年11月16日(土) 16時開場/16時半開演

☆会場 アスピアホール

<http://www.velatec.co.jp/aspia/index.html>

/京王新線幡ヶ谷駅北口から徒歩2分

/渋谷区幡ヶ谷2-14-3

☆参加費 2000円

♪参加をご希望の方はお問い合わせ先にご連絡ください♪

☆お問い合わせ 岩手県民とともに歩む緩和ケア仲間の会
yuko0010921@yahoo.co.jp (大井)

☆ご寄付はこちらの口座へお願いいたします。

(金融機関名) 飯能信用金庫 (支店名) 所沢けやき台支店
(預金種類) 普通 (口座番号) 2021410

(口座名義) 岩手県民とともに歩む緩和ケア仲間の会
ご寄付は広く活動費に当てさせていただきます。詳細は「お医者さんのお茶っこ」FBページでご報告します。

第2部 チャリティーコンサート

下成佐登子 (ヴォーカル)
1978年、自作曲「秋の一日」でシンガーソングライターとしてデビュー。19歳で南米のチリ音楽祭に日本代表として出場。アルバムを4枚リリース後スタジオミュージシャンに転向。コーラスやガイドボーカルとして活躍する一方、アニメ「小公女セーラ」や「ひみつのアッコちゃん」などの主題歌やもののけ姫の挿入歌「エボシたたらうた」なども歌う。

第2子出産後は家庭に専念したが、昨年より、歌う事に再チャレンジし始め、昨年は被災地でヴォイスワークショップをしたり、木村真紀の復興支援CDの制作に関わるなどしている。

田中知子 (ピアノ)
武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。定期的にソロリサイタルを開催。09年より毎年ラ・フォル・ジュネー周辺エリアコンサートに出演。2台ピアノ、二胡や和太鼓など様々な楽器とのコラボレーションを試みる他、クラシックからシャンソンまで幅広いジャンルで伴奏者としての評価も高い。日唄文化協会、東京室内歌劇場会員。

TAROかまやつ (ピアニストシンガーソングライター)
東京都生まれ。「祖父」「父」「父のいとこ」が音楽家という恵まれた音楽環境の中、3歳よりピアノ、音楽理論、作曲法を故・黛敏郎氏に師事。2005年「風のわだち」でサラリーマンシンガーとしてメジャーデビュー。同年、初アルバム「ピノキオの詩(うた)」、2010年、アルバム「KEEP ON」を発表。東京を中心にライブ活動を行う他、震災以降の東北支援活動をきっかけとして、『目の前の人を笑顔に』を愛言葉に、即席リクエスト演奏を目玉とした「セラピストシンガー」の活動も開始している。

